

別記様式(第4条関係)

会議録

会議の名称	令和3年度第2回加東市学校給食センター運営委員会
開催日時	令和4年3月10日(木)午後2時00分から午後2時45分まで
開催場所	加東市学校給食センター 会議室
議長の氏名 ( 委員長 平川真也 ) 出席及び欠席委員の氏名 【出席委員】5名 森下智行委員 平川真也委員 福井明委員 橋本喜貴委員 板谷昌宏委員 【欠席委員】4名	
説明のため出席した者の職氏名 なし	
出席した事務局職員の氏名及びその職名 教育振興部教育総務課長 菅野勇一 教育総務課学校給食センター所長 大久保めぐみ 同 主査 堀内千穂 同 栄養教諭 浅田恵美 同 栄養教諭 吉川真美子	
議題、会議結果、会議の経過及び資料名 【報告及び説明】 (1) 令和3年度事業実施内容及び学校給食費の状況 (2) 令和3年度かとう夢プラン楽しみのある学校給食特別メニュー実施報告 (3) 令和4年度事業実施計画(案)及び予算 (4) 令和4年度学校給食用物資納入業者登録について (参考) ・令和3年度学校給食徴収金収納状況 ・食育推進事業の取組について	

・令和3年度「かとうのこんだて」

**【会議結果】**

(1)～(4)の資料に関する事、及び参考資料について、事務局からの説明に対し、質疑応答及びご意見をいただきました。

**【会議の経過】**

- 委員長 第2回運営委員会ということですが、第1回がコロナ禍で書面開催でしたので、こうして集まっていただくのは今年度初めてということになります。実質今年度最後になりますが、ご協力よろしくお願ひいたします。
- 事務局 本日の運営委員会は、9名中5名の方にご出席いただいております。委員の過半数の出席により、学校給食センター規則第13条第2項の規定により会議は成立いたします。協議事項につきましては、新型コロナウイルス感染防止のため、会議の時間をできるだけ短縮して行いますため、内容については特記事項のみご説明いたしますが、不明な点ございましたら遠慮なくご質問いただければと思います。会議の最後には、委員全員の方から一言ずつお話しいただく時間をお取りいたしますのでよろしくお願ひいたします。ここからは委員長に会議の進行をお任せいたします。
- 委員長 お手元の資料に基づいて進行していきます。まず、令和3年度事業実施内容及び学校給食費の状況について、事務局からお願ひします。
- 事務局 事業内容についてですが、令和3年度も、令和2年度に引き続きましてコロナ禍という中での学校給食を進めてまいりました。1日も給食を止めることなくここまで迎えることができましたのも、皆様方、学校や保護者のご協力のたまものと感謝いたしております。
- 行事の内容につきまして、まずは、給食指導訪問ですが、栄養教諭と食育推進専門員による学校訪問に関しまして、できる限り学校の体制を整えて受け入れていただくという調整ができましたので、ここに書いておりますように行かせてもらっております。行けない学年やクラスもありました。どうしてもその期間であるとか、学校や地域の感染状況など厳しい状況のときはこちらも強引に行かせてもらうこともできませんので、学年に応じたテーマの資料を配布して食育の指導を各学校でやっていただきながら1年間行ってまいりました。また、加東和食給食の日の実施

ということで、学期に1度の取組みで、その日に合わせて和食給食を取り上げた授業を主に推進校で実施するとか、そういう取組を行いました。

感染防止の観点から、トライやるウィークやインターンシップに関しては、今年度の受入れはできませんでした。主要な会議についても、給食担当者会をこれまで毎月実施してきましたが、4月の初回だけお集まりいただいて、後は書面による対応ということで今年度1年間終わりました。来年度は感染に注意をしながらできるだけ集まり、直接話をするという機会を持っていきたいなと考えております。事業内容に関しては以上です。

○事務局 令和3年度の学校給食費の状況につきましてご説明いたします。令和4年2月末日現在としておりますので、あと3月の1か月分の給食がありますが、これを除いた数値ということでお聞きください。まず、給食数ですが、総数で50万5,206食、うち主食の米飯は月曜日から木曜日ですが、それが39万2,412食、それと金曜日のみになりますが、パンが11万2,745食ということで推移しております。その食数に見合った給食費を集めておるわけですが、小学校が1食210円、中学校が1食240円ということで集めさせていただいております。2月末日現在で1億1,101万7,126円を徴収しております。その関係で、学校給食費として、いわゆる食材費に当たる部分ですが、パン、米飯、そして副食材料を含め計1億3,901万5,615円ということで、差引きすると2,799万8,489円の赤字ということになっております。本来でしたら保護者からいただく保護者負担金をもって全て給食材料費で賄わなければならないということになっているのですが、加東市におきましては「かとう夢プラン」ということで148万9,000円、プラス食材充実事業ということをやっております、それについては市の一般財源で約3,000万円程度を毎年持たせてもらっていますので、合わせて約3,150万円はいわゆる市民の皆さんに支えていただいて子どもたちの給食費を何とか賄っておるというようなことでございます。2月末日現在で2,700万円余りの赤字になっておりますが、令和3年度の予算では3,140万円計上しておりますので、あと340万円ぐらい3月分で使えるという状況になってございます。

○委員長 ただ今の説明について、質問等ございませんか。質問がないようですので、

令和3年度かとう夢プラン楽しみのある学校給食特別メニューについて説明をお願いします。

○事務局 令和3年度かとう夢プラン楽しみのある学校給食特別メニューについてご説明いたします。まず、この取組に関しては、加東市の子どもたち、児童・生徒が食への興味、関心を高める、またより一層の魅力ある学校給食の充実を図るということを目的としておりまして、平成25年度から実施しております。実施回数ですが、月に1回、1人約50円加算という予算で年間約170万円を市からいただいており、月々テーマを設けまして、食材に関しては加東市産や兵庫県産のものを中心に使ったメニューをたくさん取り入れております。昨年度から取り入れておりますのが、加東市産のもち麦を使ったもち麦ご飯であったり、また蒸しもち麦をサラダに入れたり、また例年提供しております加東市産じゃがいものコロケだったり、加東の桃ゼリー、ぶどうゼリーなど、地元の食材をアピールするためにメニューに取り入れるようにしております。また、他のデザートにつきましては、4月に入学・進級お祝いのクレープや、12月にはクリスマスメニューのケーキ、また2月のバレンタインメニューで提供しましたデザート、これらに関してはアレルギーの子どもたちでも食べられるような小麦や乳製品、卵を使っていますデザートを取り入れております。平成25年度から実施していますが、子どもたちは毎月楽しみにしてくれているようで、そういう声もたくさん聞いておりますので、今後とも実施していきたいと思っております。以上です。

○委員長 ただいまのかとう夢プラン特別メニューについて、何かございませんか。質問がないようなので、協議事項の3番、令和4年度事業実施計画（案）及び予算について説明をお願いします。

○事務局 先ほど令和3年度の事業の内容についてご説明いたしましたが、4年度に新たな事業を展開していくというような計画は今のところない状態です。コロナ禍というのがどこまで続くか分からないですが、これまでやってきた事業をできるだけ工夫しながら展開していければと考えております。学校訪問に関しましては、学校と連絡調整、連携しながらできるだけ子どもたちのところに直接行って食育指導を行う、給食の配膳や喫食の様子を見せてもらうというようなことで進めてまいりたいと思っております。そのほか、社高校の学校給食研究事業ということで、今年度

も12月に、3年生の管理栄養士を目指す4名の生活科学科の生徒さんが、学校給食用に半年ほどかけて研究してきたメニューを、実際にセンターで調理員と共に調理して子どもたちに提供するというような事業を今年度も行ってくれました。来年度もぜひということで伺っております。通常こういった給食センターで学生を受入れるという形が、なかなかほかではできない取組だということで喜んでいただいております。貴重な勉強の機会を与えてもらって有り難いと、大変評価していただいております。後進の指導という形になると思うので、将来の栄養士、栄養教諭を育てるため、できるだけ栄養教諭にも頑張ってもらって受け入れの協力をしていきたいと考えております。

また、年間を通して、かとう夢プラン楽しみのある学校給食特別メニューの実施や、献立の中でかみかみメニューとって、噛むことを意識した献立ということで考えて提供しております。事業に関しましては以上です。

○事務局 引き続きまして、予算です。令和4年度の学校給食予算ということで、先般市議会で提案いたしておるところです。その内容の抜粋という形になりますが、歳入につきましては、学校給食費の徴収金ということで1億2,043万1,000円を計上してございます。食数にすると54万5,230食分になります。歳出につきましては、その給食費の徴収金に見合う学校給食費という部分でございます。そのうち食材の購入事業費が1億1,026万3,000円ということで、この差が約3,000万円で、この部分を一般財源で見るとということで、学校給食充実材料費として約2,900万円、それと、楽しみのある学校給食特別メニュー、これが大体170万円程度を一般財源として見てもらっております。市として3,000万円余りは毎年一般財源から支出するというところで事業運営をさせていただいております。それプラス、給食施設費、これはこの学校給食センターの運営費でございまして、光熱水費ですとか、様々な施設の修繕、あるいは工事費、そういったものが5,525万7,000円ということで、これは全て市の一般財源の中で賄うというような予算構成になっております。

○委員長 ただいまの、令和4年度事業実施計画（案）及び予算について何かご質問ございませんか。

○委員 ちょっと一点質問で教えてください。勉強不足で申し訳ないですが、社高校生

のことで一点聞きたいんです。研究振興、それから発表会とありますが、これはいつ頃から始まったものでしょうか。それで、その生活科学科の生徒さんたちが高校を卒業された後に、やはりそういうふうな道に進まれているんですか。

○事務局 この研究事業に関しては、平成23年から実習生の受け入れに協力してきております。インターンシップで2年生の時に学んだ生徒が、5日間、こちらで大量調理の体験だったり、栄養教諭の仕事を体験し、それを生かして同じ生徒が3年生になってメニューを作り、調理員と一緒に調理したものを実際に給食として子どもたちに提供するという流れになっており、その実績をまとめて学内やセンターで発表してもらっています。

○事務局 今年度に来られた4名の生徒に関して言いますと、全員が大学に進学し、その後の進路としては管理栄養士を目指す道を考えておられるということを本人たちから聞いております。

○委員 それは素晴らしいことですね。ありがとうございます。

○委員長 続いて、令和4年度学校給食用物資納入業者登録について、説明をお願いします。

○事務局 この令和4年度の学校給食用物資納入業者の登録につきましては、例年でしたら2月の運営委員会の後に物資調達部会を開き、そこで承認をいただくという手順を経ておるんですけども、これにつきましては先般の運営委員会が書面開催になったということで、物資調達部会につきましても2月24日付で皆様方に書類をお送りして、この43者の業者について令和4年度の登録させていただきたいということでご承認をいただきました。表の一番下に書いておりますように、登録予定業者43者のうち市内の業者が23者ということで、1月末締切りで継続の意向確認ということで案内を送付して返ってきた業者がこの43者ということになります。実は、令和3年度ではもう2者ありましたが、3千食の学校給食の食材を賄わなければならないということで、経営されている方が高齢化してきてもう無理ですといった話もあって、今回辞退というような格好になりました。麺類を納めてくださっていた業者なんですけど、次年度は辞退したいという返事がありました。酒粕を納入いただいていたところも、何とかお願いしたいということで電話もさせていただきましたが、1月末までに書類を出していただくことができなかったということで

2者減っております。今後とも市内業者につきましては引き続き現在の品質を高められるようなことを考えていきたいなと思っておりますが、取りあえず当初の出発としてはこの43者で出発するということとなります。学校給食センターの物資の登録につきましては、選定基準というのがありまして、厳しい内容の部分もあるので、なかなか3千食を一括して納入できるとかというようなところで非常にちゅうちょされる業者もあるとも聞きますが、やはり子どもたちの安全・安心の食材ということでございますので、今後もそういった基準に基づいてご協力いただきたいと思いますというふうに考えております。

○委員長 令和4年度学校給食用物資納入業者登録について何か質問ございませんか。特にないようですので、以上をもちまして議長の職を解かせていただきます。ご審議ありがとうございました。

○事務局 委員長、どうもありがとうございました。次第にあります4つの協議事項の下に参考として添付しております資料をご説明いたします。

学校給食費の徴収についてですが、給食費については、毎月10日にJAみのりの保護者に登録していただいている口座から前月分の引き落としを行っております。残高不足などで引き落としができなかった方につきましては、納付書を送付して早めの納付を依頼し、月末の時点で納付が確認できない方には督促状を送付しております。納付を促しておりますが、常習的なのというか、やはり滞納がかさんでこられている保護者の方というのが何名かおられまして、学校のほうに協力を求めたり、夜間にこちらから自宅を訪問する、また電話をかけたり、郵便で案内をすることといった様々な方法を取って徴収努力はしておりますけれども、なかなか思うように運ばず難しいところでございます。

食育推進校として、今年度は滝野南小学校、滝野中学校に活動していただいております。ここに付けております資料は、その食育活動の支援をセンターから行っているというような形で、1年間の活動の実績報告を提出していただいたものです。各学校で様々な趣向を凝らして活動をされております。来年度も引き続きこの2校に取り組んでいただくということになっております。

続きまして、昨年度からコロナ禍であるということで、先ほどからも申し上げておりますとおり、学校訪問が困難な中、食育推進専門員が学校での食育指導のため

に作成した資料ということで、ここに付けておりますのは3枚だけなんですけど、不定期ではありますが学校の教室に掲示をしたり、学級での食育指導に活用したり、そういった資料として配布しておるものを抜粋してお付けしております。このほかにもいろいろ興味深いテーマを決めて、子どもたちがちょっとでも関心を持って自分たちのこととして感じ取ってくれるような内容を心がけて作成しておるものがございます。特に今年度、コロナ禍で増えている残菜を減らすということで後半に力を注いでまいりました。少しずつではありますが減っているのではないかというような兆しが見えるところもございますので、引き続き取り組んでいきたいと考えております。

続いて、本日まで出席の委員の皆様へ、一言ずつご感想などいただければと存じます。よろしくお願いいたします。

○委員 このコロナ禍のため、会議の際に給食の試食ができなくなってとても残念です。先生方は毎日食べてらっしゃるんでしょうけど、僕は唯一の楽しみだったのが、ここ2年間ぐらなくなってしまうのが残念です。

かなり前にはなりますが、私は栄養士を目指す子の学校で教えていたことがあって、こういう子らが栄養士になるんだなと。ここでそういう教育もされるのはいいことだなと思います。地元の社高生を受け入れて給食研究事業に協力して交流していることも本当に珍しいというか、すごくいい取組だなと。ここでその高校生の生徒さんたちが、ここで学び、身に付けたことを今後に生かす、そういう道に進まれているならなおさらいいなと思った次第です。

この辺は山田錦の産地で、大体3人に1人はこういう酒米を作られている。これを1回食べてみてくださいと言って山田錦のお米をもらって炊いて食べてみたんですけど、非常においしいんですね。酒米ってあまりおいしくないというイメージがあったんですが、こんなおいしいお米なのに何で食べないのかなと思って、それよりもお酒にしたほうがお金になるのかなというふうに思った次第です。以上です。

○委員 給食に関して言うと、毎回僕らは学校で検食をするんですけど、うちの校務員さんが中学生でも大盛りになるような量を入れてくださって毎回検食をいただいています。今日もご飯も大盛りで全部いただきました。校長室で食べますので、コロナ前から1人で黙食で食べておりますが、生徒たちもやっぱりほぼこの2年間ずっと前を向いて黙食の形で食べているので、守るべきルールを守ってはいるんです

が、プラス・マイナスとやっぱり両方出てきているなど。やっぱりその一つは給食も一つの楽しみなんですけど、学校生活の中の楽しみという時間、食べながらわいわい言う時間がなくなっているという。一方で、黙々と食べるので給食の時間が早いですよね。すると、その後の昼休みの時間に余裕があるというようなことと、これからコロナが収束に向かっていく中で、プラス・マイナスの両方をもう一回見直してみる必要があるなと思います。

○委員 私も検食しますが、私は校務員さんに言って量を減らしていただいています。健康上食べ過ぎないように大盛りは避けるような毎日です。コロナの影響で、私の学校でも小学校2年生の子は、昨年に入學して6月から学校が再開して給食が始まってずっと黙食なので、きっと給食の時間は黙って食べるものだというのがすり込まれているんだなと、そんなふうに思います。だから、いずれコロナが収束するだろうとは思いますが、先ほども出ていましたが、給食が楽しみだという子どもは随分いて、教科書は覚えなくても給食のメニューは全部覚えている子とか、どこの学校にもいると思うんですよ。もう本当に今日はこのメニューがあるから楽しみだという子どもはたくさんいるんじゃないかなと。でも、食べるのは楽しいんだけど、でもそれを友だち同士でわいわい言えない苦しさとか、しんどさとか、もう本当に長い、もう2年以上経ちますけど、本当に子どもに悪い影響が、こっちは見えないけど随分とたまっているんじゃないかなと、またそれがいつどんな形で出てくるのかなと、そんなことも危惧しています。

それと、残菜のことが出ていましたが、今では随分と欠席は減りましたが、本校でも一時は本当に欠席が多くて、本人が濃厚接触者であったり、家族が濃厚接触者になったから用心で休ませますとか、もちろん体調不良とか、10人以上の欠席がずっと続いていましたので、多いときは欠席が20人超えたりすることもありました。だから、当然残菜も増えてしまうということもあってですね、今は随分と減ったので子どもたちももちろん食べているとは思っています。毎日本当にいろいろとお気遣いをいただいてありがとうございます。以上です。

○委員 給食なんですけど、一日3食を食べるうちの1食のことですけど、食事と捉えたときに、やっぱり食事は楽しいものだなという思いを持ってほしい。家庭に帰ったときにも、中学校へ行って、そして中学校でもそんな思いを持ってさらに次のステージに向かい、いずれ大人になって社会に出ていって、そのときに、食事というのは楽しいものなんだという気持ちを持ってあげることが一番うれしいことですよ、そうあってほしいなということをいつも思っています。なので、節目節目で

工夫していろんな夢プランのメニューで提供していただいている、当校は小規模な学校ですので、そういうときは一斉にみんなで食べるんですよ。今日はクリスマスをみんなで祝おうとか、そういうふうなことで、いつも給食の時に一言を付け加えている5・6年生の高学年らが、今日家に帰ったときに、今日は七夕のメニューだった、七夕と言ったらこんなやでとか、そんな話も家族とできたらいいなというようなことを加えています。本当にこういうふうに提供していただいていることで、子どもが食に興味を持って、そしてそれを少しでも家庭へ還元できる、そんな子どもになってほしいなという思いを持ちながらいただいております。ありがとうございます。

- 委員 私も子どもが2人おまして、ふだんから学校給食には大変お世話になっております。ありがとうございます。先ほどのお話の中でもありましたけど、うちの子は、献立を見ては、あしたの給食は何々だからということで喜んだり、何かと一喜一憂しておるんですけども、この私にとっても自分が子どもの頃よりも大分メニューも増えて、また今は食物アレルギーなんかも昔よりもはるかに種類が多くなっておるかと思うので、本当に献立を立てるのは大変なことだろうなといつも感じております。

子どもたちにとっては、体をつくる大事な成長期の食の3分の1を給食で取ることになりますので、今は予算でかなり食材費が厳しい面もあって、なかなか量を増やしたり種類を増やすというのは難しいと思うんですけども、やっぱり今後も工夫していただいて、味と栄養面でのすばらしい給食を提供していただけたらと思います。

- 事務局 貴重なご意見をいただきまして、どうもありがとうございました。安全でおいしく楽しい給食にしていくということはみんなの共通の思いで、子どもたちのためにこちらもしっかり受け止めまして、それを形にしていきたいと思っております。今後ともよろしく願いいたします。

一点ご案内ですが、加東市の学校給食の献立を広く知ってほしいという思いから、市のホームページで毎月の献立部分のみですが紹介しています。子どもさんがおられたら「かとうのこんだて」を家に持って帰って保護者の方には見ていただいておりますが、子どもたちはこんな給食を食べているんだなど、一般の方にも興味をもって見ていただけたら幸いです。